

## 平成 27 年度 横浜市一般会計補正予算（第 4 号） 総務局関係部分の概要について

### 1 歳入歳出予算補正（総務局関係）

（単位：千円）

款 項 目	補正額	補正額の財源				説 明
		特定財源			一般財源	
		国県 支出金	市債	その他		
2 款 総務費（総務局関係）	△640,185	△171,557	102,000	△59,920	△510,708	
2 項 総務費	△640,185	△171,557	102,000	△59,920	△510,708	
<b>3 目 情報化推進費</b>	<b>△593,698</b>	△171,557	147,000	△59,920	△509,221	
行政情報通信基盤 （庁内 LAN）運用事業	294,000	147,000	147,000	0	0	情報セキュリティ 強化対策の実施に 伴う補正
情報システム運営管理 事業	△726,305	△318,557	0	△59,920	△347,828	委託料等の減に伴 う補正
庶務事務集中センター 管理運営事業	△161,393	0	0	0	△161,393	委託料の減に伴う 補正
<b>4 目 危機管理費</b>	<b>△46,487</b>	0	△45,000	0	△1,487	
防災行政用無線運用 事業	△46,487	0	△45,000	0	△1,487	工事費等の減に伴 う補正

### 2 繰越明許費補正（総務局関係）

（単位：千円）

款	項	目	事 業 名	金 額
2 総務費	2 総務費	3 情報化推進費	行政情報通信基盤（庁内 LAN） 運用事業	<b>294,000</b>

## 詳細

### 1 行政情報通信基盤（庁内 LAN）運用事業（294,000 千円）

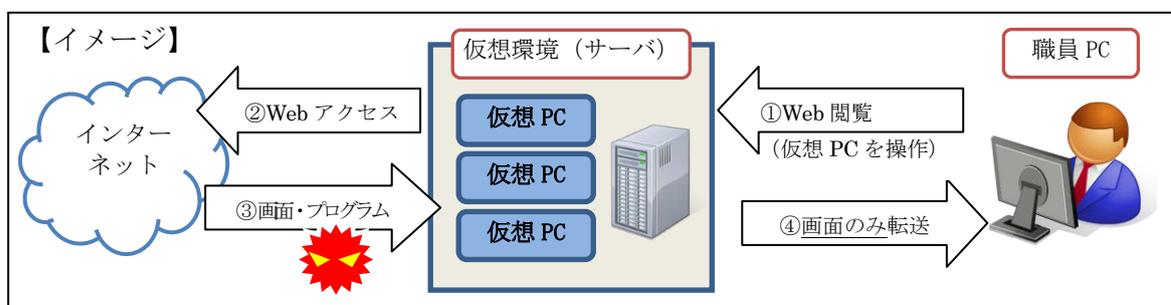
#### ○補正概要

平成 29 年 7 月から開始される社会保障・税番号制度における他都市等との情報連携に向けて、情報セキュリティ対策のさらなる強化を図るため、文書管理や財務会計などを扱う行政内部情報系ネットワークで Web 閲覧環境の仮想化（※ 1）や、メール無害化対策（※ 2）を行う経費を増額します。併せて、住民記録や税などを扱う住民情報系端末に、2 要素認証（※ 3）を導入します。

また、事業完了予定が平成 28 年度となるため、繰越明許費を設定します。

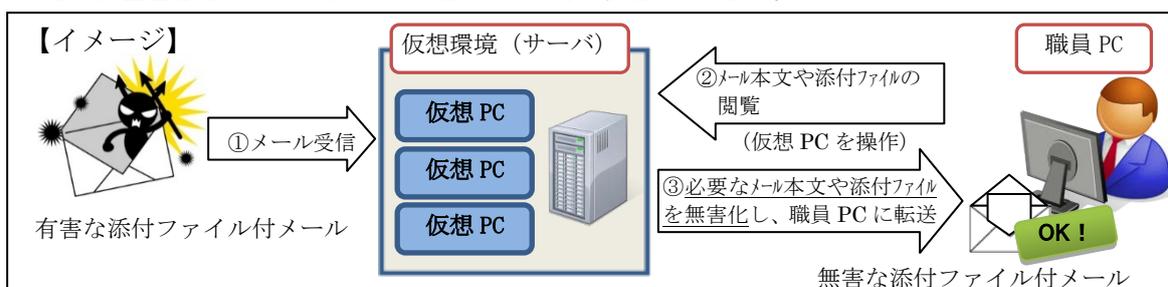
#### ※ 1 【Web 閲覧環境の仮想化】

インターネットの Web ページをパソコンから直接閲覧せず、仮想環境から画像として閲覧するなど、悪意のあるプログラムがパソコン本体で実行されない環境を設けます。



#### ※ 2 【メール無害化対策】

メールに添付された有害なプログラムを含んだファイルを、プログラムが実行できない形に変更するなど、安全性を確保しつつ電子メールを利用できる環境を整備します。



#### ※ 3 【2 要素認証】

正規の利用者であることを、正規の利用者だけが「知っていること(知識:パスワードなど)」、「持っているもの(所持:ICカードなど)」、「身に備わっている特徴(生体:指紋や顔など)」の3つのうち、2つの要素の組み合わせで確認すること。

### 2 情報システム運営管理事業（▲726,305 千円）

#### ○補正概要

住民情報系各種システムにおける社会保障・税番号制度対応のシステム改修経費等について、入札残等による不用額を減額します。

### 3 庶務事務集中センター管理運営事業（▲161,393 千円）

#### ○補正概要

職員が使用する庶務事務システム（※）における社会保障・税番号制度対応のシステム改修経費等について、入札残等による不用額を減額します。

※ マイナンバーを含む職員の扶養状況等の申請受付及び出勤や超過勤務等の勤務状況を管理するシステム

### 4 防災行政用無線運用事業（▲46,487 千円）

#### ○補正概要

南区庁舎・金沢区庁舎の移転に伴う、防災行政用無線の新区庁舎への設置関連経費について、入札残により不用額を減額します。